

地域学校協働活動実践事例

活動名	日進北小学校
日北小 SSN 防災教室	

【活動内容】

第1回学校運営協議会(6/7)で熟議を行った結果、「みんなで一緒にかかわりあうこと」ができる協働活動に取り組むことになった。そこで、学校運営協議会とSSN協議会の参画団体の協働で防災教室を開催することになった。

第2回目のSSN協議会(10/19)で、各団体の活動報告と防災教室での具体的な活動についての意見交換。第3回目(1/18)の協議会で最終案を取りまとめて、令和6年2月23日(金)(国民の祝日)に開催した。



聖学院大学「防災戦隊マモルンジャー」の皆さん

【実施に当たっての工夫】

○活動の名称を「防災教室～自分たちでできる防災・減災について知り、体験しよう～」とし、SSN協議会参画団体(18)に声をかけ、14団体が参加した。そのうち単独でブースを展開する団体が4、自治会の連合「チーム自治会」で3、青少年育成日進地区会が地区民生委員・児童委員協議会と地区社会福祉協議会との合同で3、当日の運営に協力する団体が4で、さいたま市防災センターに協力をお願いして「起震車」体験を加えて合計7ブースを展開した。(起震車は当日が雨天のため、DVD視聴に変更)

○参加者は、募集チラシに応募した親子とチャレンジスクールに参加している児童と保護者で、グループごとにチャレンジスタッフをリーダーとして各ブースを決められた時間内にまわる「シールラリー形式」をとった。

○オープニングとラリーの途中には聖学院大学「防災戦隊マモルンジャー」の皆さんが防災グッズの紹介と防災ショーを披露し、会場を盛り上げてくれた。

○昨年度の反省をもとに、①時間短縮、②時間内でできる内容の精選、③人と人とのかかわりを実感できる場づくり、をコンセプトにして取り組んだ。

【地域学校協働活動を実施しての成果】

○SSN参画団体から62名のスタッフ、保護者33名、児童56名(申込数)が参加。各ブースではスタッフと参加者が打ち解けて活動できた。

○時間短縮と各ブース、参加者の負担軽減が課題だったが、準備開始時刻を2時間遅くして、活動時間を約45分短縮するという目標が達成できた。

○防災と減災に関わることだけではない、日頃からの「人とのかかわりあい」の大切さを味わってほしいというSSN協議会の願いが達成できた。



炊き出しのご飯をもらって帰宅する参加者

